ECO (エピクロルヒドリンゴム)

ECO (エピクロルヒドリンゴム)とは、エラストマーの材料です。優れた耐油性・耐燃料性。

Epichlorohydrin Rubber • Hydrin • CHR/CHC

最終更新：2026/10/30

1.27 g/cm³	14 MPa	125 °C
比重（密度）	引張強さ	最高使用温度

シリコーンゴム・NBR・FKMとの違い

材料名を押すと、その材料のページに移動します。

	ECO (エピクロルヒドリンゴム) このページ	シリコーンゴム (RTV)	NBR (ニトリルゴム)	FKM (フッ素ゴム)
引張強さ	14 MPa	7 MPa	25 MPa	14 MPa
硬さ	40-90 Shore A	50 Shore A	70 Shore A	75 Shore A
線膨張係数	—	310 µm/m·K	—	—
熱伝導率	—	0.2 W/m·K	0.25 W/m·K	0.18 W/m·K
最高使用温度	125 °C	—	—	—
密度	1.27 g/cm³	1.15 g/cm³	1.2 g/cm³	1.85 g/cm³

「—」は材料データベースに値が載っていない項目です。

特徴と用途

材料としての特徴

- 優れた耐油性・耐燃料性
- 良好な耐寒性（NBRより優れる）
- 低ガス透過性
- 静電気散逸性
- 耐オゾン性良好

主な用途

- 自動車燃料ホース
- プリンターロール
- 静電気散逸ベルト
- 航空燃料シール
- ガスメーターダイヤフラム

選び方

NBRより耐寒性・耐オゾン性が必要な燃料系ゴム部品に。

メリット

- 耐油性
- 耐寒性
- 低ガス透過
- 静電散逸

デメリット

- 耐水性低い
- NBRより高価

一般的な特性に基づく参考情報です。実際の性能は製造条件・使用環境により異なる場合があります。

物性値

公的規格・技術資料をもとにした参考値です。

熱的性質

項目	値	条件
最高使用温度	125 °C	—
最低使用温度	-40 °C	—

物理的性質

密度	1.27 g/cm³

加工・規制・注意

規制適合

RoHS	適合
REACH	適合

出典・ご利用上の注意

- 2025-12-07

作成者：ものづくりのためのお役立ち情報編集チーム（株式会社メイカーズ）
監修：株式会社メイカーズ　商品開発戦略グループ
作成日：2026/10/30
最終更新：2026/10/30

本ページの物性値・特性情報は、JIS・ISO・ASTM等の公的規格およびメーカー技術資料を参照した参考情報です。実際の材料選定・使用にあたっては、必ず材料メーカーの公式データシートをご確認の上、専門家にご相談ください。 本データベースは、設計・開発段階での材料比較・選定にお役立ていただけるよう、幅広い材料の物性情報を掲載しています。図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お気軽に お問い合わせ ください。

※ 本ページに記載の商標は各社の登録商標または商標です。Inconel®, Monel®は Special Metals Corporation、Hastelloy®は Haynes International, Inc.、Vespel®, Kapton®, Kalrez®, Kevlar®は DuPont、Delrin®は TJC、Teflon™, Viton™は The Chemours Company、ジュラコン®は ポリプラスチックス株式会社、MCナイロン®は 三菱ケミカルアドバンスドマテリアルズ株式会社の商標です。

図面加工のご依頼やおすすめ材料のご提案は、お問い合わせください。

よくある質問

ECO (エピクロルヒドリンゴム)の密度（比重）は？

ECO (エピクロルヒドリンゴム)の密度（比重）は1.27 g/cm³です。

ECO (エピクロルヒドリンゴム)の引張強さは？

ECO (エピクロルヒドリンゴム)の引張強さは14 MPaです。

ECO (エピクロルヒドリンゴム)の最高使用温度は？

ECO (エピクロルヒドリンゴム)の最高使用温度は125 °Cです。

ECO (エピクロルヒドリンゴム)の硬さは？

ECO (エピクロルヒドリンゴム)の硬さは40-90 Shore Aです。

ECO (エピクロルヒドリンゴム)の主な用途は？

ECO (エピクロルヒドリンゴム)は、自動車燃料ホース、プリンターロール、静電気散逸ベルトなどに使われます。